

一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー

金丸 弘美

食環境ジャーナリスト



<略歴>

1952年佐賀県唐津市生まれ。食環境ジャーナリスト。食総合プロデューサー。

執筆活動のほか、食の総合プロデューサーとして、食育と地域づくりを連携させた食のワークショップのプランニングから、プロモーション、ツアーへの展開といった食のアドバイザー事業、また学校を対象とした、公開授業、大学から幼稚園まで各学校での食の講師などもてがける。

食の調査からテキスト化を行いブランディングし、またワークショップで食べ方を提案、プロモーションにつなぐ活動は大きな評価を受けている。これまで各地で開催されている。

執筆活動のテーマは、食からの地域再生、地域力創造と活性化、食育と味覚ワークショップ、地域デザイン、環境問題と持続社会、高齢者の生きがい。

農業、食材に関しては北海道から沖縄まで全国の農村や町など1000ヶ所を巡る。また子供たちの食べ物が大切と考え、秋田から沖縄まで、全国50箇所の学校給食を取材した。

現在、

総務省地域力創造アドバイザー。

内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師。

学校給食等地場食材利用拡大委員会委員（農水省）。

（一財）地域活性化センターシニアフェロー。

日本ペンクラブ環境委員会副委員長。

特定非営利活動法人発酵文化推進機構特任研究員。

発酵食品ソムリエ

エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議アドバイザー。

明治大学農学部食料環境政策学科「食文化と農業ビジネス」兼任講師。

フェリス女学院大学国際交流学部専門科目「地域と食文化」非常勤講師。

ライターズネットワーク相談役。

高知県観光特使。

食の至宝 雪国やまがた伝統野菜PR大使（山形県）。

香川県さぬきうまいもんプロジェクト実行委員会委員。

著書に

『ゆらしい島のスローライフ』(学研教育出版)、

『メダカが田んぼに帰った日』(学研教育出版)、

『えんや！ 写真集・唐津くんち』(写真：英伸三 家の光協会)

『こんな scene で贈り物』(絵・平野恵理子 福武書店)

『こんなシーンでウエディングベル』(絵・平野恵理子 ベネッセコーポレーション)

『本物を伝える 日本のスローフード』(岩波書店)、

『まともな食べ物が食べたい！』(ダイヤモンド社)、

『スーパーラット 都市の野獣クマネズミの恐怖』(徳間書店)、

『田舎力 ヒト・物・カネが集まる5つの法則』(NHK 生活人新書)、

『実践！ 田舎力ー小さくても経済が回る5つの方法』(NHK 新書)、

『創造的な食育ワークショップ』(岩波書店)、

「給食で育つ賢い子ども 全国おいしい学校給食マップ」(ソトコト新書)、

『幸福な田舎のつくりかた：地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版)

『美味しい田舎のつくりかた：地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』(学芸出版)、

『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書)、

「田舎の力が 未来をつくる！：ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革」(合同出版)、

『食にまつわる55の不都合な真実』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、

『地域の 食をブランドにする！食のテキストをつくろう！』(岩波書店)

など多数。

著書 37 冊、共著・企画・編集を手掛けた本に 32 冊がある。

<得意とする分野>

食による地域づくり。地域プロモーション。

食の総合プロデューサーとして、食育と地域づくりを連携させた食のワークショップのプランニングから、プロモーション、ツアーへの展開といった食のアドバイザー事業を手がける。食の調査からテキスト化を行いブランディングし、ワークショップで食べ方を提案。現場を取材してメディアに発信、出版につなぐ活動は大きな評価を受けている。

<自治体等との連携実績等>

・新潟県佐渡市(佐渡ヶ島)食のワークショップツアー(2004年)

- ・大分県食育事業アドバイザー(2006年4月～2008年3月)、
- ・佐賀県「唐津玄海食のプロジェクト」(2006年9月～2007年3月)、
- ・長崎県平戸市観光人材育成協議会地域活性化事業アドバイザー(2006年3月～2009年3月)
- ・岐阜県高山市「宿讎かぼちゃ」ブランド化支援事業(2008年～2011年)
- ・総務省地域力創造アドバイザー事業における茨城県常陸太田市での、食のテキストづくりから行い、料理家、地域景観、素材、農業者、専門家などのコラボレーションによるワークショップ(2008年6月～2009年3月)
- ・北海道上士幌町食のプロモーション事業(2009年)
- ・兵庫県豊岡市「コウノトリ育む米」プロモーション事業(2009年～2010年)
- ・秋田県横手市食のプロモーション事業(2009年)
- ・香川県高松市丸亀町商店街食のプロジェクト(2010年～2011年)
- ・高知県知事直轄事業「農業人材育成創造事業総合アドバイザー」(2010～2015年)
- ・農水省「地産地消の仕事人・現地検討委員会」(2010年～2013年)
- ・香川県さぬきうまいもんプロジェクト(2011年～2013年)
- ・宮城県石巻市「食文化による地域再生プロジェクト」(2012年～2013年)
- ・神奈川県小田原市梅を使った商品開発ワークショップ(2012年)
- ・茨城県小美玉市レンコンと地域食プロモーション事業(2012年～2015年)
- ・岩手県陸前高田市食の地域振興アドバイス事業(2013年)
- ・島根県美郷町食のワークショップ(2013年)
- ・秋田県能代市ネギのプロモーション事業(2013年)
- ・福島県福島市桃を使った商品開発ワークショップ(2014年)
- ・青森県三沢市地域特産物ワークショップ(2014年)
- ・山口県長門市地域食を使った商品開発ワークショップ(2014年)
- ・岡山県奈義町食のプロモーション事業(2015年～2016年)
- ・山形県飯豊町地域農産物を使った商品開発ワークショップ(2016年)
- ・農水省「学校給食等地場食材利用拡大委員会委員」(2014年～)
- ・福井県蕎麦の東京におけるプロモーション事業(2017年～2020年)
- ・和歌山県田辺市「たなべ未来創造塾」メディアプロモーション事業(2017年～2021年)
- ・長野県下條村食のブランド化事業(2019年～2020年)

<その他特記事項>

現地でノウハウ連携と地域経済と事業を現場で学ぶためにツアーも、これまで度々行っている。ドイツフライブルグの環境政策、フランスの「味覚ワークショップ」、イタリアのスローフード、ベトナムの農村振興など。

また国内では、福岡県遠賀郡岡垣町「グラノ２４Ｋ ぶどう樹」、鹿児島県奄美諸島・徳之島、長崎県大村市「おおむら夢ファームシュシュ」など。

これらを現地で取材も進め雑誌やラジオで発表。さらに書籍にして発刊し、ノウハウの連携を行っている。

現在、ウィメンズアクションネットワーク W A N (Women's Action Network)

<https://wan.or.jp/ueno> で「金丸弘美のニッポンはおいしい！」を連載。

住生活産業総合雑誌『ハウジング・トリビューン』（創樹社）で「金丸レポート・田舎再生の現場から」を隔週連載。『味の味』（アイディア）で「地食が面白い」を隔月連載。「金丸弘美 特別寄稿・もっと先の未来への歩み」（合同出版）

を不定期連載 <https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n34930.html> 。「人と地域を元気にする地産地消の給食革命」を（合同出版）で連載

https://note.com/godo_shuppan 。「月刊クリンネス」（一般財団法人 環境文化創造研究所）で連載。『月刊 NOSAI』（公益社団法人全国農業共済協会＝N O S A I 協会）「農と食で高める地域の力」連載を始め、ほかにもイレギュラーなど、

雑誌、新聞、WEB メディア、Y o u T u b e など、毎月、地域の活動取材発信。ノウハウの連携を行っている。

関連 URL: <http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/home/index.php>